

相談事例

ID: 01-03-022

相談タイトル

新築引渡し後すぐに発生したトイレ排水の詰まりについて

Q: ご相談内容

新築引渡しから3ヶ月でトイレ排水が詰まり、その後も概ね3ヶ月ごとに詰まっていた。その都度、建築業者が大量の水を流すなどして詰まりをとってくれるが、詰まりの原因についてははっきりした説明が無い。污水配管の勾配の取り方が少し誤りがあるが、許可は下りているので問題無いとの説明がある。詰まりを考慮してか、トイレトーパーをシングルのものにするように言われている。トイレの污水配管は家の周りを半周して浄化槽まで届くが、浄化槽に届く前につまっている。掘り返して少し直した後は、詰まるまでの期間が少し延びたが、また詰まってしまった。どのように対応したら良いか。

A: 回答

勾配の取り方に少し誤りがあるという話や、掘り返して少し直した後は詰まりにくくなったということから考えますと、おそらく污水配管の勾配の取り方に問題があると考えられます。浄化槽への流入口は固定されていますので、簡単な作業ではありませんが、頻繁に污水配管が詰まるということですので、トータル（全体的）に配管勾配を調整する必要もあります。今後の対応については、原因についての説明を良く聞くとともに、場当たりの詰まり解消ということだけでなく、詰まらないような根本的な対応を求める事が良いと考えます。建築業者の方の対応がこれまでと同様な対応の場合には、第三者的に専門業者に状況を見てもらい意見を聞くとともに、法的な対応について弁護士等に相談され、今後の交渉を進められてはと思います。